

令和6年度 中土佐町総合教育会議 会議録

- 日 時 令和6年12月13日（金）午後2時30分～午後4時
- 場 所 中土佐町役場 1階 大会議室②
- 出席者 （町長部局）町長 池田 洋光 総務課長 平田 政人 総務課 林 美月
（教育委員会）教育長 岡村 光幸 教育次長 多田 昭介
（教育委員）濱田 貴代 森下 卓也 高橋 雅人 下村 舞衣子
（司会）総務課長
- 議 題 1. 令和7年度教育委員会関係予算（案）について
2. 少子化に伴う小中学校のあり方について
3. その他

（池田町長 開会の挨拶）

（竹崎副町長 挨拶）

○平田総務課長 どうもありがとうございます。

それでは、本会議、設置要綱のほうを配らせていただきます。

本会議の目的としては、町長と教育委員会のほうが円滑に意思の疎通を図って、町内教育の課題、町長の挨拶のほうでもありましたが、目指す姿等を共に共有しながら、同じ方向性の下、連携して効果的に教育行政を推進していくために意見交換を行うということを目的としております。

会議の進行等、不十分なところがありますが、意見交換ということになりますので、率直な意見を交わしていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

それでは、意見交換ということですので、一応、議題のほうをつくっています。

令和7年度の教育委員会の関係予算についてということで、教育委員会のほうから説明をしていただきます。よろしくをお願いします。

(資料配付)

○多田教育次長 委員会のほうから資料の説明をさせていただきます。

1 ページお開きください。

こちらが令和7年度の教育委員会当初予算、ほかでも来られています
が、これから令和7年度に向けてのヒアリングのほうが始まります。令
和7年度の予算といたしまして、教育委員会としてお願いしたいという
部分も踏まえまして、今回重点施策という部分で資料をつけさせていた
だいております。

1番、2番、3番は継続事業ですので、こちらについては、もう委員
皆様ご存じだと思いますので、これも要望させていただきたいと考えて
おります。

次に、4になりますが、拡充になりますが、高等学校等生徒通学費等
助成事業、こちらにつきましては、現在は3分の2、上限1万円、これ
も2年前に拡充をしたところなんです、それを令和7年度につきましては
は、補助率4分の3、上限2万円ということで、特急定期のほうも含め
てもということで、今回予算要望をさせていただきたいと思っております。

予算請求額につきましては、概算ということになりますので、お見知り
おきをお願いいたします。

次に、5番ですが、これは新規事業になります。

学校副教材購入支援事業ですが、こちらは前にもご説明させていただ
きましたが、学校が家庭から直接徴収する、例えばドリル、それからノ
ート、そういう部分につきまして、子育て支援ということで、今回その
部分につきまして、行政のほうで購入費につきまして支援をしようとい
うことで計画をしております。

これにつきましては、既に四万十町、それから来年度は黒潮町のほうで
も実施するということをお聞きしております。こちらのほうの部分につ
いても352万5,000円、これは概算ですが、要望させていただきたいと
考えております。

それから、6番ですが、町民ふれあい広場再整備事業でございます。こちらにつきましては、ふれあい広場のテニスコートのところを改修するというのを計画しておりますので、これにつきましては、備考にも書いておりますが、思ったより予算がかかってきました。そのために、まずはコンサル等の部分の設計から入るといけないと思いますので、今現在時期等につきましては、事務局のほうで協議をしているところでございます。

次が7番、先ほど町長からもありましたが、学校へのタブレット、これが全て更新時期に入ります。こちらのほうは、今の方針では全て替えるということで、国のほうからも指示が出ておりますので、今回この前の予算がまた当初のほうにお願いするような形で計上するようになっております。

それから、8番、これは新規事業で、これはまだ計画の段階ですが、小・中学校の体育館に対しまして空調設備のほうを導入していきたい。随時ということで考えております。こちらに書いておりますが、こちらのほうも、まずは当初予算には設置の計画づくりの委託料を計上させていただいて、そちらのほうで金額をはじいて、まずは久礼中学校、久礼小学校というような形で、利用頻度が高い体育館のほうから整備を順次進めていきたいと考えております。

すみません、抜粋ですが、これ以上また、総務課長に怒られますけれども、かなり学校のほうから予算要望、上がっていますので、こちらのほうを来年またヒアリングのほうをさせていただきながら要望していきたいと思います。

以上です。

○平田総務課長 ありがとうございます。

何か予算、この部分、特に聞きたいとかいうところが委員さんのほうであれば、また説明のほうをしていきますが。

もっとほかに何か予算をつけてほしいことがあるとかいうことがあれば。僕は「はい」と返事しませんが。

○濱田委員　　そうしたら1つ、教育委員会の定例会でもずっと話を何回かしていますけれども、小学校の中学年の子供の休日とか、夏休み、冬休みの居場所づくりというか、今もなかなか、小学生は保護者がいないと川とか海では泳げないのです。それで、どうしても三、四人、四、五人で遊ぶときに、なかなか戸外では夏休みは暑くて遊べないので、今年も9月の中学年の小学校の懇談会に行ったときに、かなりの子供がもう夏休み、家の中でタブレットとか、今携帯も持っていますので、それで一日過ごした子供が多かったというふうな授業での話も出ていました。

こどもセンターが出来て、ゼロ歳児とか、そういう子供の居場所、また、「旧いちかわ文具店」がそういう子供の遊び場所になって、すごく小さい子供、また、1、2年生は学童へ行っていますので、行き場所があるんですけども、小学校の中学年の子供の居場所づくりいうか、それをぜひ進めてほしいなというふうに思います。

中学生は、もう自分たちで泳ぎに行っていていいし、部活がかなりあるので、中学校では、必要性というのは小学校の中学年に必要性があるんじゃないかと感じています。そのことは定例会でも何回か話をして、考えていこうというふうなことにはなっています。

○平田総務課長　　町長、何か。

○池田町長　　ご案内のとおり、今久礼小も改修をしています。手前先に直したほうが、南舎、今直しよる北舎、やっております。ここを今樹木の伐採も随分して、もう鬱蒼としておって、ムカデは出るは、ヘビも出るは、ひどいことになっとなったので、それは全部木を伐採しました。こっちから見るとよりは、学校へ行って実際に見てもらったらよく分かります。本当にすごい樹木を、量を切りました。

実はまだ、消防の前ですが、ここから見えるちょっとばあつとあるところ、小学校の先生の駐車場に使いよった、今工事現場になっている、現場事務所になっている、あるんですが、通学路というのがありますので、あそこをまたこれから切ります。うまくいったらこの土地、アスファルトに、その後になるかもしれんですが、年内には全部切ります。と

にかく学校の環境をよくしようということで、北舎のほうの学問坂を上がったところが学童保育になりますので、あの周りは全部舗装して、今砂利を敷いていますけれども、碎石を。そこを全部舗装するようにしています。

そこは今プールが置いてあるとかするわけですが、じゃ、学童に入っていない子供はどうかという話もありますし、それから、北舎そのものが全部使い切れないんですよ。今の話で、子供たちは当然学校へ行くことは、毎日通っておるんで、大人みたいに上がっていくのがしんどいとかいう話はないです、学童もありますので。そういうようなことで、何か今濱田委員が言われたようなことを学校の中でもできんのかなと。これはもちろん学校長、それからPTAはじめ、そういった教育委員会以外の皆さんとも話をしなければなりませんけれども、それも1つかなと。

それとあともう1つは、現在学童をやっておる永久町の建物なんですけれども、もう空になるわけです。あそこも有効活用しなければなりません。ですから、そういったところもちょっと考えていく必要があるんじゃないかということです。

あと、こどもセンターですが、今は低学年の子供がけがをしてはいかんということで、ちょっとお兄ちゃん、お姉ちゃんなんかもいかんよというようなことで、そういう縛りをしてきましたけれども、議会の質問等もあって、もっと気軽に行ける場所にすべきではないかと。コの字型の建物になっていますので、平面図、上から見ると、右手のほうが真丸のそういったスペースになっておりますけれども、左の手前、あそこは調理室になっていますが、全然使っていない。使えてないんです。調理室はあいあいルームの隣にあるので、だから、あれほど大きな規模の調理室を何でつくったか分からんですけれども、そんなこと町長が言ったらいかんですが、もっとあそこも活用できんのかなと。

ただ、セコムがかかっておるので、自由にとということになると、セコムの解除と何かの事故が起きたときの責任の所在の問題もあります。当然こどもセンターでもあるし、教育研究所でもありますので、そこには

守秘義務が付された資料等もいっぱいありますので、そんなところへ勝手に入っていかれても困るので、そのあたりは運用の問題なんで、どうしますかねということの関係者、ステークホルダーの中で協議をしながら、今申し上げたようなスペース3つ、町有の建物としてありますので、こういうところをうまく活用できんかなと思います。

特にもうこの夏場の暑さは、「煮える煮える」と言いましたが、地球沸騰の時代に入りましたんで、確かに3年生、4年生、5年生、大変なことなんです。それを何かどこかにみんなが自由に遊べる場所をね。

それと、のじぎく荘、旧の保育の隣です。デイサービスセンター、あそこももっと活用の仕方があるんじゃないかということもあって、また、委員の皆様からぜひお声を寄せていただきたいなと思いますし、保育所、それから小学校、中学校、PTA、それぞれのPTA、あるいはまた、管理主管であります所長であり、校長の皆さんとも話し合いを進めて、ぜひとも来年はそういうこともしたいと思います。

それと、さっきも事業の中で出てきますけれども、体育館の部活が非常に厳しいということで、久礼中には、まず避難場所の1番にもなっておりますので、あそこへ優先的にまず入れると。順次久礼小であり、上小はどうかというのはあるんですが、大野小・中にもないですね。あちらのほうにも入れていかないと。昔は大野見は2度は気温が低いということやったけれども、今は夏は同じように暑いので、そこも当然順次入れなきゃならんのですかね。かなり工事費用が大きくなりますので、一気にということにはなりません、まずは久礼のほうから始めたいと思いますので、そこはまたよろしく願いいたします。

で、もう子供たちの居場所づくり、これを本当にしっかりと整備しないと、こんな時代になりましたので、積極的にそれを推進したいと思いますので、ぜひ皆様方の後押しもして、議会も子供のことに反対はないと、あとは財政だけの話ですね。

○平田総務課長 はい。

○多田教育次長 今はいと言われた。

○濱田委員 　　ぜひお願いします。

○平田総務課長 　　先ほどちょっと委員会のほうからも説明がありましたけれども、いわゆるライオン公園、あそこの再整備は、大人と子供と分かれて遊べるような感じでやろうやないかと。

○多田教育次長 　　テニスコートを再整備という形が主になっております。

○平田総務課長 　　今まで意外とあそこを高校生とか、大きい人がバスケットをやったりとか、なかなか子供は其中で遊ぶというのは難しかったと思うんですけども、そのさび分けみたいところで整備していくがじゃないかと。

○多田教育次長 　　そうですね、今考えておるのは、町長のご意見もありますが、テニスコート内にバスケットコート等々も含めて、子供たちが遊べるスペースを確保する。また、下にはテニスコートというか、普通でも使えるような状態で、今かなり老朽化していますので、そちらを再整備するのが基本な部分で、バスケットコートはあちらへ持っていくような計画で考えて。

○池田町長 　　あと、東屋も整備します。ちょっと木陰も余りない。何か藤棚のところにもちょっとあるだけでね。保護者にとっても、子供たちの遊びの現場を自分の目の前にしたいんで、そのためにテニスコートというか、フェンスに沿って東屋をあそこへ作ります。東屋の中で保護者の方が子供を見ながら談笑したりできるようにしたら、若干違うと思う。

　　あと、よく屋外の話でどうするかいうと、ミストシャワーがあるじゃないですか。熊谷市、日本一暑いところ、あんなところへいっぱいつけたりしちよるがですよ。それは電気代も安いんで、機械自体もびんきりですが、何らかの対策を講じて、子供たちに遊びながら休憩を取ったりとか、ジュースを飲んだり、みんな今マイ水筒を持っています。みんな持ちちよるんで、そんながを活用しながらできんのかなということで、まずは来年度整備をします。夏、暑いときも、夏休みまでに。

　　コートは1学期中に出来るんだよね。

○多田教育次長 　　東屋の部分については本年度予算でいただいています。

○池田町長 　　コートの整備。

○多田教育次長　それは来年度にも書かさせていただきましたけれども、来年度予算でまずは、思ったより費用かかりますんで、コンサルというか、設計を入れさせていただきたいと考えています。

○池田町長　夏休みまでに、できたらね。

○多田教育次長　そこら辺を僕のほうも今、はい、やりますというのはなかなかあれですけれども。

○平田総務課長　多分厳しいと思う、夏休みまでは。

○多田教育次長　いやいや、これから設計を入れて、入札までもって行ってとなると、やはりちょっと期間もいただかないと無理やと思っていますけれども、正直。

○池田町長　あれぐらいのことで

○多田教育次長　いや、それはもう町長、重々あれですけれども。

○池田町長　お金の問題なんですよ。これ何でこんなことを言うかという、私が就任をしたのは、平成18年1月の選挙で勝って、2月4日なんです。そのときに予算は平成17年度予算で回っているんで、旧の中土佐町、それから旧の大野見村の予算がそれぞれ12月までの分があって、1月、3月までは合併した町のなんで、その17年度の決裁はもうてんでこ舞いやったんですが、公約に完全給食を実施するとやったんで、いつやるかという話。そんなものは1年はかかるし、予算もないというような答えやったけれども、親子方式やったらできやせんかよと。

私も飲食業だったんで、それで夏休み中にぱっと久礼小の調理場、上小の調理場を改修して、大野見はもともとあるんで、これで矢井賀小学校へ持っていったりとか、笹場小学校へ持っていったりとか、久礼中へ持っていったりとか、いわゆる2つの拠点をつくって、そこから各隣接の小・中学校へ全部運ぶようにしたんです。2学期から完全給食を実施。当初は絶対無理やと言われた。けれども、そんなの我々が働くわけじゃないので、業者がやるわけで、入札を早くかけて、そして、決まったら、あとは縦覧期間をおいて、それに応札をしてくれる、工事をしてくれる業者を選べば、そんなにかかる話ではないと思うんですよ。議会も今通

年議会できるんで、6月議会まで待てなんていう話じゃなくて、当初からそういう計画を立てておれば、3月の当初予算の中でもう入れるんで、概算でコンサル料金、それから、工事は中に出てくる話ですけれども、やればできると思う。

だから、早くやらんと、1年待たないかんなるわけよ。夏休みに仕上がらんかったら次の年まで遅れると。それはどうかなというのが私の考えなんです。役所仕事でやったら絶対できんで、そこはもうちょっと民間、須崎市役所が、高知信用金庫がたった3日でリノベーションをやって、金曜日に役場へ行っちゃった人が月曜日に来て、ここはどこ、何ですかとびっくりした。あんなことは民間しかできないです。とてもとてもできん。

それは一つの例ですが、役所と民間の違いはそのスピードなんです。そこは誰のためにこの事業をするのかということになると、子供、それなら4年生は次に5年生になり、5年生は6年生になるというときに、次の年の夏休みまで使えませんかということになるので、それはどうですかねと思うんだけど、当然議会のご理解も要りますし、無茶苦茶のものはできんわけですから、実際のところ、テニスコートを荒れた下をやり直して、新たにどこかに物をつくるんじゃないので、それほど困難な事業ではないと思う。建物ができるわけではありません。ですから、いろいろな役所の仕組みの中では、きちっと法にのっとってやらなきゃいけないのですが、ただ、次長もご勇退ということで、来年残ってくれるかなと思うんですが、引き続き次長、よろしくをお願いします。

○多田教育次長　その件はまた教育委員会内で、今度また総務課でもご相談しながら、予算編成をかけていきますので、町長のご意向はまた委員会の中で教育長ほうとも。

○池田町長　総務課長も替わるけんね。退職の同級生になります。それはまた今橋さんとね。

○平田総務課長　3月の当初予算の査定はやらんといかんで、僕は切らなかつたらえいということですね。

○池田町長　そういうことですね。

でも、町長査定があるので、復活というのは、今まででもあるので、それは何とかなると思います。

○平田総務課長　先ほどの広場と、それから町長がちょっと言いましたけれども、体育館の空調、これは今年度補助とか、ちょっと出てくるという、来年に向けて。で、やっていきます、体育館の空調に関しては。財源も取れそうなんで、ただ、金額次第のところはありますけれども、体育館の空調となると、何千万単位になっていきますんで、一気にはなかなか難しいかも分かんないですけども、一応避難所として使うところはやっていきたいなということで危機管理のほうも話しておりますんで、やっていくようになると思います。

○森下委員　環境整備の面で、上ノ加江地区のスポーツ文化センターなんかでトレーニングとか、今充実はすごいして、利用の方も大分いらっしゃる部分なんですけれども、旧の中学校、あのグラウンドですけども、維持管理がなかなか大変やと。今イノシシがまた掘り返したり、背丈ぐらゐの雑草が生えて、とてもやないけれども、入れる状態じゃなくて、この夏に100メートル走、自己タイムの申告制の。その遊びをスポーツ推進員でやったがですけども、その後は全く入れん状態なんです。

ちょっと冗談になりますが、次長も草が生えんようにキャッチボールとか、野球をやりよってくれという話もあったがですけども、もうそれどころやない状態で、子供の数も減って、遊ぶ子も少ないか分かんないですけども、ちょっと見栄えというか、環境が。

○池田町長　そこは、上ノ加江川の改修事業を着手しているんですよ。その残土処理場になるということで、忠霊塔のところから古土居川を越えて中学校へ行って、仮設道をつくって、それでダンプで何回も何回もあのグラウンドを全部埋めていくんです。最終的に、今青写真が描いてありますけれども、何立米出るかということは、面積がかかっているんで、高さは大丈夫なんですよ。で、どうやってその周りの壁で自然勾配でいくのか、極端にいくと、みたいな直壁を建てて埋めていくか、それは周りの皆様のご理解も要りまうですけども、そこは県の事業としてやっていきます。

それから、森下さんのお宅の裏にヘリポートが出来ますから、そのヘリポートの残土も出るんで、まずはその残土を盛って仮設道をつくと。

○平田総務課長 町長、まだそれは微妙です。できるかどうか。

今県と調整しています。

○池田町長 できるかというのは。

○平田総務課長 ヘリポートの土を使えるかどうか。

○池田町長 決まっているのは、残土処理場にするんだ、あそこは。仮設というか、道の話は、道をつけんことには、あそこへ行く道がないので、これは仮設をつけないかんことは間違いなことです。ただ、それを今言うのは、県が負担をするのか、うちがするのかいう話はまだあるけれども、どっちにしてもあのグラウンドは土を入れていくと。で、高こうなると。これは決まっています。これも決まっています。

○森下委員 仮設道はもう工事が終わったらまた元どおりに。

○池田町長 撤去やけれども、地権者にはお借りをして、また元に戻すということにしておるんですが、今の水稲というのは、もうだんだん高齢化で難しくなっていますし、作るんやったら買うたほうが安いんで、今ちょっと高くなったとはいえね。だから、譲ってもらえるんじゃないかなということは思っております。

○森下委員 旧の中学校のグラウンドが使いりゃ、もっと遊ぶところというか、運動会は今、上でやっていますけれども、やはり上まで上がるのにしんどいという高齢者の方がいっぱいいらっしゃるのです。

○池田町長 けれども、スポ分ももうちょっと奥へ盛って整備したら、50メートルが1本で取れると。

○多田教育次長 町長、やはりあそこで球技等はなかなか。

○池田町長 球技じゃなくて走るがで。

○森下委員 あの横、今またちょっと宅地になんか使うみたいなですね、家が建つという。

○池田町長 ああそう。

○森下委員 なんか工事来ていますね。

○池田町長 ああそうなの。

○多田教育次長 学校というか、田んぼ寄りのほう、森下寄りのほう。

○森下委員 そうです。1件建つ。

○池田町長 地元の人、帰ってくる。

○森下委員 地元の。名前、僕も知っていますので、言わなくても。

○池田町長 けれども、そういう球技、野球をやるというわけにはいかんけれども、それはできんですか、走ったりするのは。

○平田総務課長 町長言ったように、今県と協議しながら、あそこへとりあえず土を入れて、県の整備としてはもう土羽で突き上げて、流して終わるわけ。恐らく今町長言うたように、僕も次長もおらんになりますけれども、僕の次の世代が跡地利用を考えてくれるんじゃないでしょうかね。

○多田教育次長 今言われたところでありましたけれども、かさ上げは決まっています。上の面積も決まっちゃいます。それで、その後活用については、教育長もいらっしゃいますけれども、何をするのかいうことは、今後、まず公園とか、何かあそこに人が集まれるような整備をいうことは、委員会内でも話し合いをするようにということは指示をいただいていますので、あとの活用方法については、大概、広場というよりも、公園的なものが、遊具を置くとかいうような形も一つの案やないかいうことは出ちゅうは出ちゅうがですけども、ただ、いわれる球技をやるとか、野球をやるとか、サッカーをやるというのがなかなかちょっとそこは難しいのかなとは思いますが。

○濱田委員 禁止要綱がいっぱいある公園。

○平田総務課長 財源的に、変な話、公園やったら財源が付くがですよ。それで、グラウンドとなると、今度財源がないがですよ。それで、そこを分からんですけれども、これからどういう形になるか。そういうことで、何かの財源があったら整備は可能にはなると思います。

○森下委員 ええ方向になればまた。

○池田町長 それに関してやけれども、その上ノ加江川の改修はもう抜本的な改修はできません。縦断勾配が決まっちゃうんで。それを変えていくとかいうことも

できんし、河川の幅員をどんどん広げることもできんです。ただ、あそののクランクになっちゅうところを、もう1枚の田を地権者3人はおったんだけども、買って遊水池にするかです。普段はなんちゃなので、水も枯れてるんですけども、その出水、大水が出たら、その遊水池が全部ため池になって、2年前みたいな洪水にならんようにしようとするかです。

ところが、県の今の計画は、その本来の管理はしてくれる、県管理の河川やけん。木が生えてしまう、当たり前やけれども、普段なんちゃなので、イノシシの巣になってもいかなだろう。で、その対応をどうするかという事で協議しおって、これはやれるかどうかは分からんけれども、例えば、町外の河川の占用許可、ふだんの川の流れるところの外にあるわけ、調整池が。一応河川区域内にはなんで、それで、占用許可をもらって、もう維持管理のことも考えたら、もう草刈りも大変やから。だから、あそこをコンクリートで全部埋めて公園にする。

例えば、スケボーとか、何かコンクリートやと普通の競技ではできんけれども、そんなものとか、その当然法面のところ、ところどころ階段にして、ちょっと野外コンサートができるじゃないけれども、何か池をそのまま置いたら、本当にイノシシの巣になる、荒れてしまう。だから、地元の人ら管理せいと言ってもそれは無理やしね、それは県には言っちゃる。この管理やけれども、全部やってくれにゃいかんぜよと。そこが林になったら知らんけん。それは県も分かちよる。

だから、今言うたコンクリートでやれば費用はすごい要るけれども、町が全部金を出すのではなしに、例えば折半とかいろいろな、何かの補助金とか、これからの協議です。あとは地元の要望としても、あそこは何とかしてくれと、手がかからんようにしてくれと。イノシシの巣になるようなことはいかんというのは地元から出ちゅうんで、そういうようなこともあるので、子供たちが遊べる場とかいうのは、上ノ加江にはちょっと今後そういう部分が出るという可能性があるということです。

○濱田委員　まちづくり委員会の少子化の会議も私たまたま入っていますけれども、物すごく子育て支援でいろいろな支援が厚いというのは、ほかの市町村よりも

すごいと、中土佐町は。その話はすごく出ます。けれども、子供の遊び場、それがもっとあったらいいという意見がかなり会のたびに出来ます。

○池田町長 そうやね。

○平田総務課長 高橋委員、大野見のほうは。

○高橋委員 大野見は基本的に公園がないでしょう。それで、土日はやはり小学校の遊具は公園みたいなもので、本来やったらいかんことかもしれんですがですけども、そこで子供たちは遊んでいますね。うちのお世話になっている方の子供が、土日であそこで遊びよって、大けがしまして、学校に謝りに行ったこともあるがですけども、本来は管理せないかんのが事実やけれどもというけれども、親御さんはけがしたら、うちの責任で遊ばしてもらい言うやきという文化があるので、その辺がちょっとあれかなというところですよ。

あとは森下委員が言ったことと逆転現象で、大野見中学校のグラウンドは見事なグラウンドですけども、全く利用していないんですよ、もう野球部がないので。これは中学校の野球部の方は、ちょこちょこ来てもらっている。

○多田教育次長 サッカー部も上がっていただいて、やるように今話をしています。

○高橋委員 これは一般の方々にも、グラウンドゴルフとか昔やらせてくれというから、ちょっと揉めたという話も聞いたことあるがですけども、当時と状況も変わってきたと思うので、そこらあたりも一般的な開放ということも考えなくちゃいけないかなというところがあります。

ただ、夜間、この間私もソフトボールをやりたくて、貸してください言うたけれども、昔は自由に使えたんですけども、今はお金が要るというがで、ちょっとそこらあたりも、大野見はナイターも自由に使えるとかというところがあったがですけども、お金が要るというところもあって、じゃ、やめろかという話になったことがありますので、この辺うまくバランスよくやっていたらええのかなと思うがですけども、まずは昼間の活用ですよ。あと、野球部以外使っているような。

○多田教育次長 この前ヒアリングに行ったときには、中学校のサッカー部が上がってやるとか、基本的に今やっているのは、陸上記録会も全て大野見ですよ。

で、今回また査定のときにも、総務課長に相談せんといかんがですけれども、あのいいグラウンドを管理せんとかんには、ちょっと先生方ではもう無理なので、その予算をつけていただいて、していかんとかならんということは思っています。

もうあそこしかないがです、使えるのは。

○濱田委員 100メートル走るところがここしかないがで。

○多田教育次長 もうないんです、ここしか。それもあるし、野球をやるにしても、使えるのは、中学校等ちっちゃいので、あそこのグラウンドしかないわけです。招待は全てあそこでやりますので。管理のほうはちょっとご相談して、行政もお金を入れとかんじゃないろうかという時期にきておると思っています。

○平田総務課長 下村委員、何か。

○下村委員 お金がかかるようなことじゃなくても、もう今ある施設で、ちょっと子供が入って行ってオッケーな場所がほしいということで、例えば、この役場の下の階段のところも、子供がいつでも来ていいよというような誘導をしてもらったら、もっと陰があつて、人の目があつてというような場所を、町全体でここは行っていいよ、駄目なところがすごい多過ぎて、子供が行くのに。できるだけ大人が促してあげて、ここはオッケーだよというのをもっと分かりやすく子供たちに教えてあげて、お金がかかることは多分時間がかかるから、すぐこの冬休みから使えるところをできたら案内してあげてもらいたいなど。

○池田町長 この下は遊ぶのは結構だけど、階段を上るのにけがして、剣ツになつてるので。ただタイルはノンスリップタイルになつちゅうので、もうどんなにあそこがびちゃびちゃにぬれておつても、湿気でも、絶対すべらんけん、そこはなんやけど、ただ、当たったらけがをする。

○下村委員 どこもけがするのは一緒だから、何かこの辺雨がしのげて、風がしのげてというようなところが。

○平田総務課長 特にこの下は制限はしていませんよ。

○下村委員 何かでも、やはり入りづらい。子供だけじゃ行ったらいかんのかなみたいなどころ。

○濱田委員 たまたまぜよびあへ夏休みに行きよったグループが怒られて、ここは子供が来るところやないと怒られて、そういうこともあって、結局子供はクーラーを追いかけているんですよ、夏休みは。

ぜよびあの下がたまり場になっている。

○平田総務課長 この下で怒られたわけ。

○濱田委員 違う違う、ぜよびあへたまたま小学生が行って、観光客のあれやから、もちろん注意されたということは、それは正当なことやけれども、子供の居場所をあちこちで作ってほしいということをしごく。

○下村委員 自転車でぱつと行って、10分、15分涼んで、またちょっと自転車で動いてという、子供は余り1か所でずっとずっと遊ばないから、できたらいろいろなところに。

○多田教育次長 行政の駄目なところは、町長が言われましたけれども、けがしたらどうと、その後のことをどうしても考えてしまうので、やはりちょっとこけたらどうしようというのが先に動いてしまうのは、現実。

○高橋委員 そういう時代といえば時代なのでね。

それを思ったらさっきのライオン公園、定例会のときも話をしているですけども、ここはすごく鍵になるかなというところがあるんですよ。町長おっしゃられたように、ミストシャワー、あれなんかも。

○高橋委員 あれも一つキー管理を間違ったら菌が増殖して大変な事故らもあるやないですか。あの辺のすごく、管理の面で大変やと思うがですけどもね。

○池田町長 何でも今訴訟社会になってね。何かやったらすぐ行政がたたかれて、難しいところはあるけれども、保護者とか、地域の人が、例えば本場通りもりあげ隊がキャンドルナイトをやった。それで、もうああやってボランティアでやってくれる方がおいでるからできるんで、それをその津波避難道兼通学路やね、学問坂というのは、あそこへろうそくを1本置いて、高新にも載ったわけだ、カラーの写真が載ったから、須崎のと、うちのと。やろうと思ったらできると、別に庁舎だって勝手に入れんけんように全部ロックがかかるけん、休みの日は。システムも全部残っておるけん、勝手に侵入したら全部映って、データが残る。それで、池田が入ったというのが全部映るので、これ

は誰じゃろうということになって。だから、それをやってみたら、ママ友で。
この下で何か。

○下村委員 子供だけで遊ばせたいんです。親の目をわざわざつけて回って、監視体制
の中で遊ばせるんやったら、何ぼでも行くけれども、子供だけで行って、子
供だけで遊ぶ。

○濱田委員 4、5年になったら親がついていったら怒る。

○池田町長 国道の横に昔ドライブインがあったところがある。

(発言する者多数あり)

○平田総務課長 すみません、ちょっと時間かけておりますので、一遍委員会のほうと
また3月査定もあるし、そこの中身で聞き取りもして、予算をつける部
分はつけていこうかと思っておりますので、また意見があれば、何かの機会
のときに。

教育委員会は大体毎月、定例会。

○多田教育次長 定例は毎月です。

○平田総務課長 またそのときにでも、もし意見があればまた言っていただいたらと思
いますので、よろしくお願いします。

続いて、2つ目ですが、町長が挨拶でかなり説明等もしていただいた
んですが、少子化に伴う小・中学校の在り方ということで、ぜひ何かご
意見があれば、お願いしたいですが。

特に一番気になっているのが、上ノ加江小学校の件になると思うんで
すけれども、何か教育委員会のほうで調査とか何か。

○多田教育次長 基本的にこの件については、定例の教育委員会のほうでも議題に上げ
させていただいて、教育委員さんとはこれまでも詰めてきています。概
略等4回、上ノ加江の保護者の方とは協議をした上で、教育長、最後の
結論のほうは別に、今現在の保護者との協議の内容があれば。

○岡村教育長 結論だけ申し上げますと、令和7年度と8年度は現行現状でいくという
ことです。小学校と中学校の違いは、小学校は1人先生がおったら1学級、
学年、複式やったら2学年になるんですけれども、指導できるわけです。
中学校はそうはいかないので、上ノ加江中学校のときには、積極的に行政

が介入して統合にこぎ着けたということでもあります。

小学校の場合は、さっき言ったように1人でもできるので、最後までやることも可能だし、ただ、令和9年度になると、5人、5人の10人になるので、10人を切ったりするときには、教育委員会で検討するというのがルールというか、規則とか、条例とかではないんですけども、方針としてあるので、令和9年度に向けては令和7年度にまた保護者と検討していくということで、そこの分は合意をしている。

あと、細かいことというと、バスの問題とか、いろいろ要望は出ていますが、それは予算のことなので、しっかりできれば対応は可能かなとは思っていますが、それをのけて今後も保護者との協議は続けていくことになろうかと思います。

○平田総務課長 森下委員、いろいろ小学校との関わりですけども、何か。

○森下委員 そうですね、放課後子ども教室の支援員としてもさせてもらっていますので、保護者からの共通な意見とか、そういうのは全然聞かんのですけども、また、たまたまというか、いろいろ親交というか、交流も保護者ともありまして、結構話しやすい環境でもあるんで、これからまたいろいろ聞けることは聞いていければとは思っていますけれども。

○池田町長 それで、皆さん、特にもう1点、今中土佐町立美術館の高台移転、黒潮本陣のところへ建設中です。来年5月には全部出来ませんが、行ってもらったら分かりますが、大分建ち上がってきたので、平屋ですけども、一部中2階があって、カフェスペースもつくって、昨日もそれこそ運営協議会の委員さんに集まっていたいて協議をしたところです。グランドオープンは秋になりますけれども、プレオープンというようなイベントもしながらやっていきたいなど。

それで、現在の美術館、これの利活用について、また教育委員の皆さんにご意見をいただきたいと思うんですが、いろいろな考え方はあろうと思えますけれども、一応建物そのものは木造なんですね。今は亡くなりましたけれども、矢井賀の大工さんが、寄贈してくださった町田 菊一さんの意思を酌んで、町田さんの家は京都の北区にあるんです。今の社長の町田 淳一郎さ

んが住んでいますけれども、そこは木造の3階建ての家で、エレベーターのついた家ですが、その建物も全部矢井賀の大工さんが住み込みで京都に行って建てました。本当に腕立ちの大工だったので、あの建物は立派ですよ。一部ちょっと樋がいかんになって、そこから水が入ったりして、でも、躯体はそんなにシロアリが入っていかんというものでもないんで。窓がないんですよ、美術館やから。窓がないので、普通の活用はちょっとしにくいのがありますよね。しかし、隣が図書室なので、何とか連携・連結をして図書で使えるのかなと。

前の副議長のA氏さんが、膨大なコレクションを使って、カツオ資料館をつくるんだという話もあったんですが、それは頓挫をしたところですけども、カツオ漁師の皆さんのカツオのこれは長い中土佐町の歴史がそんなものもたくさんあるので、そういうアーカイブを展示するとか、今のことから、デジタルサイネージなど、画像で見せたりとか、簡単なものやったらそんなにお金がかかるわけではないんで、もともとA氏コレクション、膨大な資料の中には、個人フィルムがおったのはもちろんです。当時は高いんで、普通の人はよう使っていないんですが、公費なのか、実費なのか知らんけれども、どっちも入っていると思いますけれども、すごいのがあります。

だから、それなりの情報発信館というような形にもできるし、図書の充実というのも図らんといかんので、私はせっかくのああいう建物があるので、隣と連結して雨よけのアプローチ、道の駅のような形で雨をよければ出入りは自由なんで、建物をくっつけるとちょうど。そんなような形でできんのかなとは思っているんですが、これは当然皆さん、町民のご意見、議員のご意見も伺いながらやらないきゃいかんですから、ちょっと皆さんのほうから妙案があれば、ぜひ提案をしていただきたいなと思っております。

○濱田委員 映画館みたいには利用できるんですか。

○池田町長 やろうと思ったらできます。

○平田総務課長 可能だと思います。ただ、音響をかなり入れんと難しいかなと。音響自体はないんで。

○池田町長 簡単簡単、それはできる。

○下村委員 昔、浦分青年会館とかでよく映画を流したりしていましたが、この町と違って映画館とかないから、ミニシアターみたいのが、つくってもいいんじゃないか。

○濱田委員 それは図書館の上のあそこを使えるよね。

○多田教育次長 使える。文化館。

○池田町長 文化館は暗幕があるんで、それは全然普通に使えるけれども、あそこは多目的にいろいろな会合をするんで、その下はそういうことで。

あと、音響は今手軽にできる。役所仕事でやると、機器類の専門メーカーのトールなんていうのが入ってしまうので、スピーカーは、例えばJBLとか、BOSEとか、それから、安くていいのがいっぱいあるので、アンプもそんなに強力なものは要らなくて、上等にできると思います。そのミニシアターというのは。

○平田総務課長 防音は大丈夫。外へ。

○池田町長 外は全然白壁やもの、もう土壁。

○濱田委員 ぜひそこも小学生の居場所づくりにしてもらったら。

○岡村教育長 文化館の2階はそもそも視聴覚室で、美術館も居場所づくりに。

○濱田委員 美術館の跡。結構中学生、小学生は図書館には行ってはいますけれども、ちょっと少のうになってくるがです、中学生なんか。パソコンもないなっただし、パソコンがあるときはよう、今はタブレットが1人1人あるので、その需要はもっと低いとは思いますがですけれども、2人体制で今図書館いますよね。だから、ちょうど隣やから、旧美術館にもぜひ子供の居場所の一つに。Wi-Fiを使えるようにして。

○多田教育次長 フリースペースみたいな格好で、そこで子どもたちが一日中何かに使えるというような形。

○濱田委員 特別もうこれをかなえる、あれをかなえるということは最低限にして、何かのときにはまた別に使うたらいいけれども、土日とか、休みとか。

○高橋委員 でも、どんなに時代が流れても図書館というものは、須崎市みたいなあんなにでっかいものにする必要はないかと思うけれども、そういうものは必要ですよね。子供たちが調べるといふ。

○池田町長 青年の家も結構みんな利用していますね。

○高橋委員 ええ。どことは言わんがですけども、ある町の住民さんが、町長との懇談会の中で、ある議員さんが図書館なんか必要ないと、俺は図書館なんか行かず議員にもなっちゅうと話をしたそうなんです。もう情けないでと言うてから、私に話をしに来たことがあるがですけども、やはり図書館というものは子供たちが、大人も当然使うがですけども、絶対条件で必要やという話をしよったがですけども。

○池田町長 自前で全部そろえたら大変なんで、1万冊も2万冊もという話があるけれども、今県立図書館から借りられるんです。特にうちらの中で充実しておるのは上ノ加江の図書館が中で、あそこに若いええ子が来たらしゅうて職員が、ポップなんかもいっぱいこさえて、それから、借りやすいような格好、それで予約もしやすい格好になっちゅうんで、上ノ加江の公民館と図書室はすごく充実している。

だから、物は考えようで、何もかにも全部お金をかけて、建物をつくって、収納、だあっと買うてやってというよりは、はやり廃りもあるんで、昔からの文学全集とか、そんなものは変わらんで、今の情報がほしい。そうしたら、週刊誌、月刊誌もほしい。そんなことは余り大きなお金ではないんで、それはやるとしても、ちょっとした専門書にしても何にしても、借りられるわけだから、それをそういうネットワークを利用したら全部できると。今一応うちの図書のデータ化はしたので、久礼と上ノ加江、大野見を全部どこに、うちに持っているのはどこにあるのかすぐ分かるでしょう。じゃ、県に借りるのもすぐできるので、そういうようなことで、図書は大事だと思います。

図書館も無いから、須崎も本当につくるし、一番大きいのは、雲の上の梶原の図書館、あれはすごいなと思う。建物も然りだけれども、すごいスペースとすごい収蔵、本の収蔵、結構な、あと6人のスタッフが回しよる。それから、年間維持費が600万円から700万円ということで、空調よりもすごいから、ようやるわと思って。梶原は暑いし、夏はみんなそこで涼んでいて、冬は冷いのであそこに集まって。それで、移住者の中には、図書館があるからという移住者が何組かおって。

うちも大きいのは今すぐにはできんけれども、さしあたり来年の7月には全部引っ越すんで空になるわけ。それを使わんといかんということです。またちょっと知恵出しをお願いします。

○平田総務課長　　ちょっと小・中学校の在り方から違うところへ飛んでいる話ですけども、小・中学校の在り方としては、今後注視しながら状況等を見ていくということで、先ほどからの美術館の部分、ちょっと気になるのが、時代が時代で外から見えないというところは、子供たちだけやったらどうなのかなというところがちょっと気になるところはあるがですけども、当然使い方を考えていかないかんので、そういったのを含めてまたご意見がありましたら、よろしくをお願いします。

もう最後になりますけれども、その他で何か、どうしてもちょっと町長のほうにこれだけは言っておきたいということがあれば。

○高橋委員　　要望とかそんなのじゃないけれども、それこそ11月28日でしたか、大野見小学校の子供さんたちが自分たちで収穫したもち米をぜひともせせらぎ園のほうにお持ちしたいということで、うちの施設まで5、6年生7人、それから校長先生と担任の先生、計9名来てもらったがですけども、うちの手前事情もあって、コロナの関係もあって、小学生の方々とか、それから、地域の方々ともなかなか交流することができなかったがですけども、

○池田町長　　はやっておったものね。

○高橋委員　　そうなんですよ。

けれども、いつまでもそう言ったっちいかんと思って、感染対策はしながらという形にはなったんですけども、今の子供たち、それこそ、後から話を聞いたがですけども、おじいちゃん、おばあちゃんには比較的いつでも会えますよね。けれども、こういう言い方をしたらいかんがですけども、知的障害者の方々と会う機会はなかなかないですよ。私が送迎したがですけども、ふだんに比べてえらい子供さんたち緊張しよるなと思って、どうしたろうと思って、それで利用者さんの前で歌を歌ったりだとか、リコーダーをやってもらったりだとかしてたがですけども、物すごく最初緊張していまして、けれども、演奏が終わってから利用者さんと交流していく中で、

少しずつ溶け込んで、物すごく後半は楽しかったと言ってたがですけれども、帰ってから校長先生、それから子供さんたちがもう一回行きたいという話をしてくれているんです。

うちからしてみたら、利用者さんからしてみても、子供たちからもらうエネルギーというのは本当に大事やと思うんです。どうしても感染症の関係で制限になるときもあろうかと思うがですけれども、今後はぜひともうちも積極的に参加をさせてもらいたいと思いますので、今回も二十歳を祝う会もうちの利用者さん1人ご招待を受けましたので、私が3人目の息子を連れて行きますので、そういう形を今後とも続けていければと思って。

どうしても怖いというイメージがあったそうです、お子さんたちは。こんな言うたらいかんかもしれないけれども、仕方がないと思うんです。なかなかそういう方々と接することがないんで。ただ、実際会ってみたら、すごく楽しかったし、また行きたいという声を聞いて、自分ら職員も含めてですが、感謝ですよ。こういう仕事をやっていてそういうことを言ってもらえることはありがたいことやし、でも、子供さんたちにとってもそうですけれども、職員にとってもそうですけれども、何よりも利用者さん、お子さんにとって交流の深まっていくことを今後お願いしたいと。今日もちょっと教育委員会のほうにお願いをして、次回の交流の場をお願いしているところですけども。

○平田総務課長 教育長。

○岡村教育長 ええことやと思うし、子供らが成長するんですよ、それで。先生も成長するし、入居者の人も楽しんでもらえれば。

○池田町長 受け入れてくれるということは。

○岡村教育長 お互いにメリットがあるので、ぜひそれは続けていきたい。また、多分少年の主張でじゃないですけれども、弁論大会等でそんなことを書いたり、それから、大野見は読もつかという高新の。

○平田総務課長 新聞の。

○岡村教育長 子供が投稿する、あそこにも結構大野見の子供が書いてくれているんです。あれを見よったら、何か自分がもう一回頑張って仕事せんといかん

という気持ちにさせられるので、また、施設のほうでも切り取ってコピーをして、ぜひ見せてあげてほしいなど。小学校へ行ったら、入ってすぐの廊下に貼ってくれてるので、またそんなのを投稿してもらえたらありがたいなど。なんか素直です。素直にどんどん育っていくんです。ぜひ続けていってほしいと思います。

○高橋委員　　お願いします。

○池田町長　　高新を見たら、やまももがある。あれで、こんな時代があったと思う。

○平田総務課長　　機会があれば、学校と連携しながらやっていただけたらと思います。

○高橋委員　　よろしくお願いします。

○平田総務課長　　ほか特に何かありませんですかね。
ないですか。終わってよろしいですか。

(発言する者なし)

○平田総務課長　　この総合教育会議、実際年に1回、去年はちょっとようしなかったんですけども、いつでも教育委員会のほうから要請があれば、行うことは随時できますので、また何かあれば、言っていただけたらと思いますので、よろしくお願いします。

○池田町長　　副町長、感想を聞かせてもらいたい。

○平田総務課長　　それでは最後、副町長のほうから終わりの挨拶をよろしくお願いします。

(竹崎副町長　閉会の挨拶)

○平田総務課長　　どうもありがとうございました。

それでは、教育総合会議を終わりたいと思います。

どうもありがとうございました。